

週報

No.1892(40-22)2018.12.20



延岡中央ロータリークラブ

例会日：毎週木曜日・昼12時30分

例会場：エンシティホテル延岡・電話(0982)32-6060

ホームページ・アドレス・・・http://park10.wakwak.com/~ncrc/

事務局：TEL(0982)35-4986・FAX(0982)35-4987

メール・アドレス・・・・・・・ncrc@bf.wakwak.com

2018～2019年度 RIテーマ

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION

平成30年12月13日

第1891回 (40-21) 例会

エンシティホテル延岡 12:30～

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
「四つのテスト」

SAA：佐藤貴美
(リーダー：西府信博)

プログラム ◆米山フォーラム・ロータリー情報フォーラム

幹事報告
(甲斐寛人幹事)

◆※来年1月10日の例会は3RC合同例会で、12時開始となっております。(受付11:30)
また、駐車場が少ない為、車でのお越しをなるべく控えて頂きます様お願いします。
地下の駐車場に詰めて駐車するか、臨時駐車場の利用して下さい。
※次回例会終了後、理事会を行います。

【例会変更】 延岡RC … 12月26日(水)・1月2日(水)特別休会
1月9日(水)は10日(木)3RC合同例会へ変更
延岡東RC … 12月31日(月)特別休会
1月7日(月)は10日(木)3RC合同例会へ変更

会長の挨拶
(川口哲司会長)

先日は、2018年の世相を1字で表す今年の漢字が「災」サイ・わざわいに決まり、発表されました。理由としては、北海道東部地震、大阪府北部地震、西日本豪雨等の災害で、甚大な被害を受けた年でした。その経験から、全国的に防災意識が高まり多くの人が自然共助の再認識した年ともなりました。

また、政治 経済 スポーツ界等でも、不正やパワハラが発覚した1年ともなりました。今年の漢字は、1995年から始まっており、12月12日の「漢字の日」に発表されています。今年の漢字の「災」わざわいは、2004年にも選ばれおり、その年には、新潟中越地震、イラクでの人質殺害や子供の殺人事件などの人災が多発した年でした。

来年は、「彩」の字の様に彩り鮮やかなような明るい一年になってもらいたいと思います。

本日の出席	会員数	58名 内免除会員1名	欠席	西谷君・高見君・藤原君・甲斐(稔)君 前野君・佐藤(む)君・吉村君・野中君 野中君・伊東君 【先取】 日吉君・岩佐君・岡田君・北林君 桑原君・岡田君
	出席数	47名		
	欠席数	10名		
	出席率	82.46%		
前々回の修正	出席率	78.94%	メーカーアップ	甲斐(稔)君・前野君・佐藤(む)君 吉岡君・西府君
	出席数	50名		
	修正率	87.72%		

延岡中央 RC 基金
(藤原荘一郎委員長)

◆次の方々からご芳志を頂きました。

・甲斐寛人会員 ¥2,000 ・高島剛会員 ¥2,000

(本日の基金 ¥4,000 今期累計¥336,000)

米山記念奨学委員会
(野中千代委員長)

◆次の方々からご芳志を頂きました。

・酒井 弘会員 ¥5,000 ・児玉 隆会員 ¥10,000 ・甲斐寛人会員 ¥2,000

・桃井 潤会員 ¥5,000

(本日のBOX ¥2,968 累計¥47,526)

ロータリー財団委員会
(大久保次郎委員長)

◆次の方々からご芳志を頂きました。

・酒井 弘会員 ¥5,000 ・児玉 隆会員 ¥10,000 ・甲斐寛人会員 ¥2,000

・桃井 潤会員 ¥5,000

(本日のBOX ¥2,894 累計¥46,967)

◆米山功労者表彰◆



山本俊幸会員 (2回目)

★12月誕生会員★



秦徳克会員・甲斐睦章会員・児玉隆会員・黒木幹雄会員・矢野恵治会員

◆米山記念奨学会フォーラム



米山記念奨学会委員会
副委員長 阿部経人会員

※米山記念奨学会の歴史DVD鑑賞

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の世話クラブとなります。奨学生は例会に出席し、ロータリー会員と交流し、ロータリーの奉仕の心を学びます。

◆ロータリー情報フォーラム



ロータリー情報委員会
委員長 児玉隆会員

皆さんこんにちは、本日は情報委員会フォーラムということでお時間を頂きました。有難うございます。活動計画としまして研修会を企画しておりましたが現実化しておりません。40周年と重なりなかなか企画できず申し訳ありませんでした。この分は、来年早々より充実したものに様に頑張っていきたいと思っております。宜しく願います。ロータリーもポールハリスがシカゴの地で立ち上げたのが1905年、日本では日露戦争のポーツマス条約、日南出身の時の外務大臣小村寿太郎が活躍した年であります。現在まで114年歴史が築かれております。日本では1912年日本人初めてのロータリアン佐賀県有田町出身で三井物産アメリカの現地法人支配人福島きそじという人がアメリカのダラスロータリークラブに入会したのが最初であります。この福島氏が案内人となり国際ロータリーからの日本でのロータリークラブ設立の要望を受け、米山梅吉氏が東京ロータリークラブを99年前1920年に設立されました。初代会長米山梅吉、幹事福島きそじの両氏が就任され今に至っております。そういう日本での114年歴史の中でロータリアンの様々な活動により現在のロータリークラブが成り立っていると思っております。そのロータリアン中のロータリアンといってもいいと思うのが国際ロータリーRI会長だと思っております。調べますと日本で会長経験者は、114年で3名の方が就任されております。一人目は1968-69年51年前、東京ロータリークラブ会員の東ヶ崎きよし氏（ジャパントイムズ社長）二人目は1982-83年37年前、お隣大分県、中津ロータリークラブ会員、向笠廣次氏（精神科医）3人目は2012-13年6年前、埼玉県八潮ロータリークラブ会員、田中作治氏（榊ダイカ会長）であります。今から6年前ですから甲斐重孝会員が会長年度であり当時数回田中会長も宮崎にお越しになり講演を聞く機会がありました。ロータリーへの思いに感銘を受けたのを思い出します。日本では3人しかRI会長になられていないなか現在のロータリーへの思いが我々と時代的に一番近い方ではないのかなと思っております。その田中作治会長が私の人生という文章を残しておられますので抜粋して朗読したいと思います。以下 田中作治 私の人生朗読